

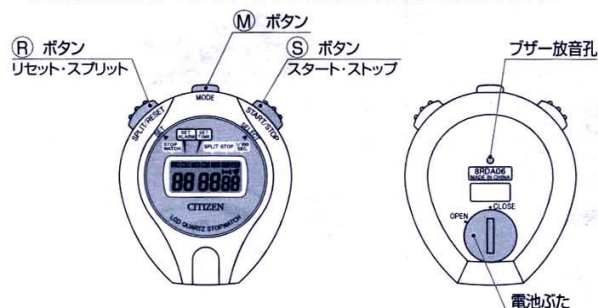
廃番 ~~EA798C-8~~ ~~ブル~~
 廃番 ~~EA798C-9~~ ~~イエロ~~
 (ストップウォッチ)

製品仕様	水晶振動数	32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
	時間精度	時計=月差±30秒 (24℃において) ストップウォッチ=99.9988 4% (24℃において)
	表示体	FE型液晶表示
	時刻表示	時・分・秒・午後<AM>・午後<PM>・12/24時間制
	カレンダー表示	月・日・曜日
	アラーム	時刻アラーム (1分単位セット)
	チャイム	毎正時 (00分)
	ストップウォッチ	計測時間 最大23時間59分59秒
		計測単位 40分までは1/100秒、40分経過後1秒
		計測機能 通常計測スピリット計測・1、2位計測
	表示方式	6桁表示
	分解能	1/100秒 (39分59秒99まで)
	サウンドモニター	ⓈⓇ ボタン操作により「ピッ」と鳴る (ストップウォッチのみ)
	使用電池	アルカリボタン電池 (LR44) 1個 または 酸化銀電池 (SR-44) 1個
	電池寿命	約2年間 (アラーム1日1回30秒、チャイム1日24回使用の場合)
	使用IC	C/MOS LSI 1個
	動作温度	0℃~+40℃

- 液晶板の寿命は約5年です。
- 非防水ですので、雨など水分がかかるようなところでのご使用したり放置することとはしないでください。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■各部の名称

●図は操作説明用ですので、デザインおよび部品の位置が異なる場合があります。

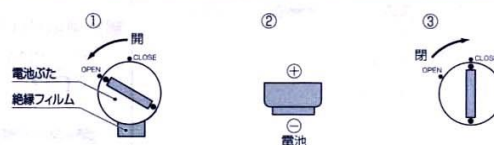


H=時 M=分 S=秒
 $\frac{1}{100}$ S=1/100秒

このストップウォッチは最大23時間59分59秒の計測ができます。また39分59秒99までは1/100秒単位の計測ができます。

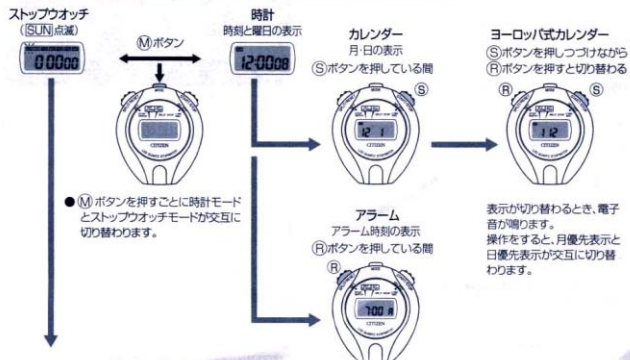
- 液晶板の寿命は約5年です。
- 非防水ですので、雨など水分がかかるようなところでのご使用したり放置することとはしないでください。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

電池交換のしかた



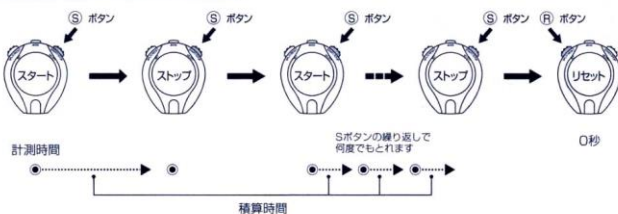
- ①ストップウォッチ裏面の電池ぶたを開けます。電池を取り外し、絶縁フィルムを取り除きます。
- ②電池の平らな面 (+ 側) を上にして、正しく入れ直します。
- ③電池ぶたを閉めます。

表示の切り替え



ストップウォッチの使い方

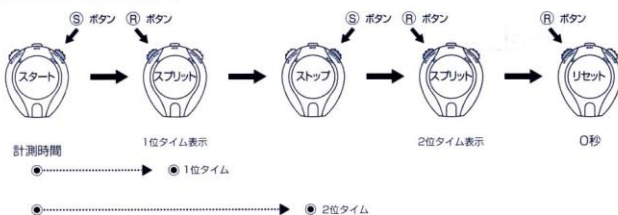
普通の使い方……積算タイムを計る



スプリットタイムのとりかた……途中時間を計る



1、2位タイムのとりかた



時刻・カレンダーの合わせかた

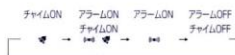
- M ボタンを押して時計モードにします。
 - R または S ボタンを押しながら M ボタンを押して、12 時間制または 24 時間制を選びます。12 時間制を選んだ場合は、表示右に A (午前) もしくは P (午後) が表示されます。
 - M ボタンを 3~4 秒押し続け表示が点滅したら手を離します。アラーム時刻が表示されます。
 - もう一度 M ボタンを押しますと時刻の修正になり、秒桁が点滅し修正可能になります。
- S ボタンを押すことに点滅箇所が
- 秒 → 分 → 時 → 月 → 日 → 曜日
- のように移動します。
- ⑤ 修正する桁を選んで R ボタンを押して合わせます。
- ※ 秒から合わせてください。
 - ※ 秒が点滅して、R ボタンを押すと 00 秒になります。また、その時の秒表示が 30~59 秒である場合、分が繰り上がります。
 - ※ 秒以外では R ボタンを 1 回押すと 1 進み、押し続けると早く進みます。
 - ※ 12 時間制を使用の場合は、AM、PM のマークに注意してください。表示に AM (午前) もしくは PM (午後) で表示されます。



- ※ カレンダーの月・日修正では、大の月 (31 日)、小の月 (30 日) は自動判別しますが 2 月は 29 日まで表示します。
- ※ 時計・カレンダー合わせは終了したら M ボタンを押して時計表示に戻してください。(自動で時計表示には戻りません)

アラームとチャイム (正時音) の使いかた

- 時計表示の状態で、R ボタンを押したまま S ボタンを押すことに、アラーム 1 とチャイム 1 のマークが表示されます。
- ・アラームマークを表示させますと、合わせた時刻にアラームが約 30 秒間鳴ります。
 - ・チャイムマークを表示させますと、毎正時にビツと 1 回鳴ります。



※ アラームを途中で止める時は、R ボタンを押してください。

ストップウォッチの表示について

■ 計測 40 分未満の表示

時刻修正、アラーム時刻修正および計測機能を使うときには、曜日表示の部分が点滅して、状態を表示します。曜日の上に印刷された表示が対応しています。

■ 計測 40 分以上の表示

アラームの合わせかた

- M ボタンを 3~4 秒押し続け表示が点滅したら手を離してください。時桁が点滅し修正可能な状態になります。
- S ボタンを押すことに時桁と分桁が交互に点滅します。
- 修正する桁を選んで R ボタンを押して合わせます。
- ※ R ボタンを 1 回押すと 1 進み、押し続けると早く進みます。
- ※ 12 時間制使用の場合は、午前、午後のマークに注意してください。



- ④ アラーム時刻合わせが終了したら M ボタンを押して時計表示に戻してください。(自動で時計表示には戻りません)

保管について



- 「0~+40℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
- ※ この時計は常温 (0℃~+40℃の範囲内) において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。



- 磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。



- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。



- ケースの材料として、プラスチックを使用しておりますのでアルコール、ガソリン等の溶剤類、化粧品などのスプレー液また、クリーナー類、接着剤および塗料類が付着しますと、化学作用により、ケース、提げひもなどの変色、劣化や破損の原因となることがありますので十分ご注意ください。